

水道橋病院の理念

病院長 柿澤 卓

「思い遣りの心に依る医療」

—使命・信条・展望—

病院・診療所連携を密にした高次歯科医療を担うとともに、安全で質の高い医療を惜しみなく提供し、情報の発信基地となる。また、建学の精神「歯科医師である前に人間たれ」に基づき、厳しくもあたたかな医療環境の下に、安心と満足 of 医療サービスを心掛ける。

水道橋病院は、病診連携の理想的な役割分担に向けて、基幹的歯科病院構想を推進するため病院機能機構改革に取り組んでおります。本構想は病診の役割分担という社会的要請もありますが、病院収支の向上を計りつつ、全教職員のモチベーションを向上させることが大きな目的です。幸いにも本年度より水道橋病院は「口腔健康臨床科学講座（口健）」として、研究・教育面でも独立し、一つの有機的な組織体となり、本構想に向け大きな兆しが見えてまいりました。

しかし今までは、漠然と考えた目的に向けて、戦略のみで行動を起こし、病院の使命・信条・展望と言った明確な理念を掲げずに、突き進んできました。組織が掲げる理念の旗がなければ改革は進みません。

そこで、多くの意見をまとめ、上記の水道橋病院の理念を策定しました。今後はこの理念の旗の下に戦略を練り、基幹的歯科病院に向け病院機能機構改革を推し進めてまいりたいと思いますので、よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

水道橋病院アピールポスターを作りました

研修委員長 末石研二

水道橋病院では病院機能改革の一環として、診療科、看護／衛生士部門の特徴やアピール点を患者様へ訴えるポスターを作成しました。作成したポスターは発表会（9月30日金）で企画の意図を説明して掲示し、参加者全員で採点しました。発展企画性、アピール性、デ

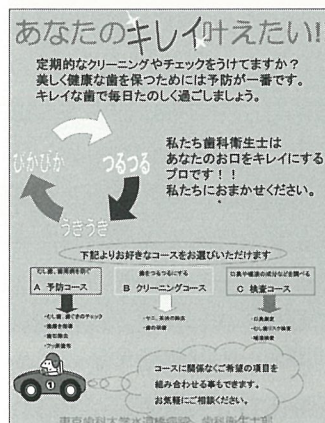
ザインの3項目について評価し、内科学助教授仁科先生による教職員研修会（10月25日火）後にポスターの表彰を行いました。日本口腔外科学会から駆けつけた柿澤病院長より受賞代表者に表彰状と副賞そして学会土産！が手渡され、拍手喝采となりました。作成したポスターは順次、院内に掲示し各診療科、看護／衛生士部門をアピールする予定です。

以下にポスターの作成を行った診療科、看護／衛生士部門名と受賞部門を掲載します。

ポスター作成診療科、看護／衛生士部門

1. 保存科, 2. 補綴科, 3. 口腔外科, 4. 矯正歯科, 5. 小児歯科, 6. 歯科麻酔科, 7. 口腔インプラント科, 8. 総合歯科, 9. 内科, 10. 眼科, 11. 口腔衛生管理部門, 12. 看護部門, 13. PRMO システム

受賞診療科／部門



優秀賞：口腔衛生管理部門



発展・企画賞：看護部門



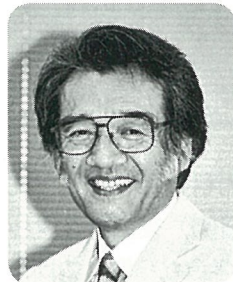
アピール賞：矯正歯科



デザイン賞：総合歯科

水道橋病院での 障害者治療について

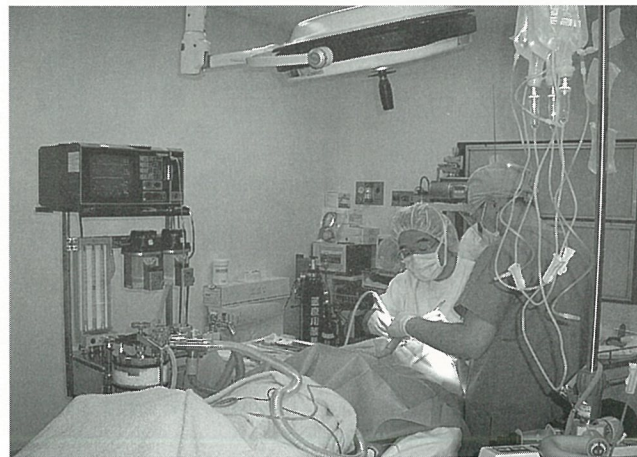
東京歯科大学客員教授 池田正一



平成17年4月より、水道橋病院にて毎週月曜日に、障害児・者の歯科治療を行っております。私は昭和39年東京歯科大学を卒業しました。現学長金子譲教授の同級生です。43年大学院卒業、同年神奈川歯科大学講師（小児歯科）、46年より神奈川県立こども医療センターに勤務し、平成17年3月に定年退職しました。その間、とくに障害児の歯科医療の確立をめざし努力してまいりました。そして、昭和48年には日本心身障害児・者歯科医療研究会の設立に参加し、59年には日本障害者歯科学会に発展、現在3200人を超す会員を擁する学会へとふくらんでおります。

スタートは学生時代、ダウン症のお子さんが歯科治療に来院された折、私が担当でした。当時は保存科がこどもの治療を行っておりました。その子に大変好かれたらしく、私がいないと口を開かないと言われ、私が補綴科や口腔外科にまわっている時でも、その子が来院するたびに私が呼び出されていました。その時の担当医が恩師・石川達也前学長です。どうも、この子らに好かれるらしいと錯覚したのが一生障害児とお付き合いすることになり、彼らからいろいろなことを教えて頂きました。

こども医療センターでは、34年間に8000例を超す全身麻酔下歯科治療を行いました。先生方の診療所や歯科医師会の障害者センターあるいは各校施設等での診療や検診などに大変苦勞されていると存じます。水道橋病院でも障害児・者歯科診療、とくに全身麻酔下歯科治療を推進していく所存です。治療困難な患者さんがおられましたらご紹介頂き、皆様のお役に少しでも立てればと願っております。



【追記】池田正一客員教授をお迎えして、水道橋病院では障害者歯科部門を強化してまいります。どうぞ当病院を有効にご活用下さい。お問い合わせ先は、小児歯科（Tel. 03-5275-1723, Fax. 03-3262-3420）までお願い申し上げます。（記 小児歯科 大多和由美）

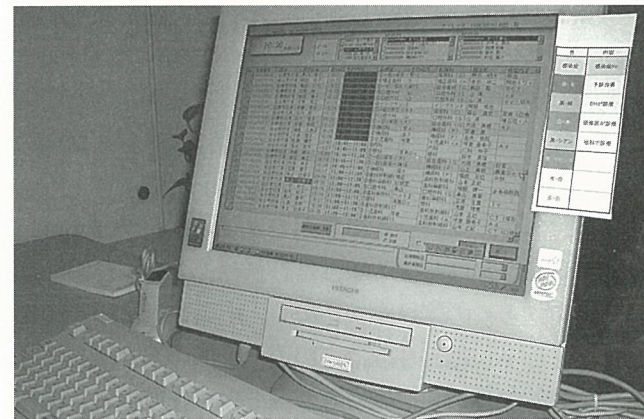
予約システムの稼働、現状について

院内情報システム検討委員長 末石研二

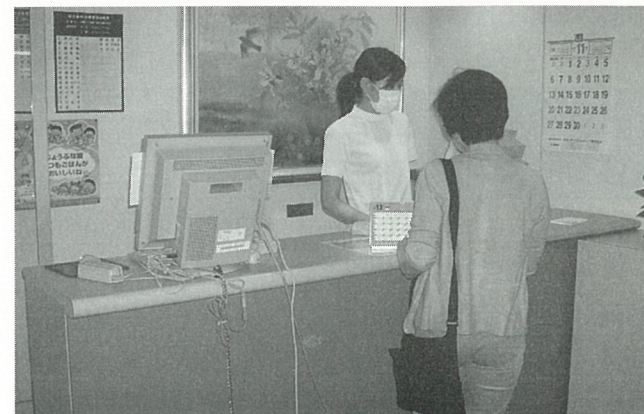
水道橋病院では、全科にまたがる電子予約システムを再構築し、さる10月1日より本格運用を開始しました。

この電子予約システムは、患者予約をネットワークサーバー上で運用することにより、患者様へのきめ細かいサービスを展開するものです。すなわち、患者様が来院されると、受付で来院情報が入力され、患者様の待ち状況が診療科のチェアサイドで確認できることや、診療科内の空いているチェアはもとより、歯科麻酔科や放射線科、検査室などの他科の予約状況が確認でき、複数科にまたがる予約情報の運用が可能となっています。さらに会計終了時点で領収書と同時に次回予約日が印字されて、予約の再確認ができるなど、その効果は多岐に渡っています。

水道橋病院の予約システムは、もともと平成12年に運用が開始され、各科の受付を中心に運用されていまし



予約画面



予約風景

た。導入にあたっては検討委員会が設置され、ソフトウェアの仕様や使用者講習会の開催など多くの時間と労力が注がれましたが、入力に用いるコンピューターが少なかった事や、入力した情報の利用が限られていた事、運用開始後に利用者を支える組織的取り組みが少なかった事などいくつかの点で問題がありました。

今回の再構築にあたっては、医事システムの更新とともに、より使いやすい予約システムへと仕様を改善し、入力用コンピューターを増加し、チェアサイドに配置しました。医局や科長室での利用も可能とし、前述の待ち状況のように予約情報の2次的利用をはかるなど、情報の共有化を進めています。運用開始直後にもかかわらず、予約システム利用状況は95%を越えていました。

今後さらにシステムの充実をはかるために、継続的なソフトウェアの改善や使用状況のモニターとフィードバックなどの組織的な運用支援を続けたいと考えています。また、近い将来、オーダーリングシステムや電子カルテシステムへと発展させる計画です。

水道橋校舎において東京歯科大学 学会総会シンポジウムが開催される

高野正行、関根秀志

千葉キャンパスの開校以来、千葉校舎で開催されていた東歯学会ですが、今回その一部が二十数年ぶりに水道橋校舎の血脇記念ホールにおいて開催されました。企画は平成17年10月16日の日曜日に総会の第2日として行なわれ、姉妹校である韓国延世大学との共同シンポジウム、Keynote Lecture、インプラントシンポジウムの3セッションがもうけられました。

午前10時からの共同シンポジウムでは金子学長と朴教授の座長により、日韓各2名の演者が「口腔顎顔面領域における骨形成と再生の最前線」をテーマに講演しました。その内容は同時通訳されて参加者より活発な議論が行なわれました。

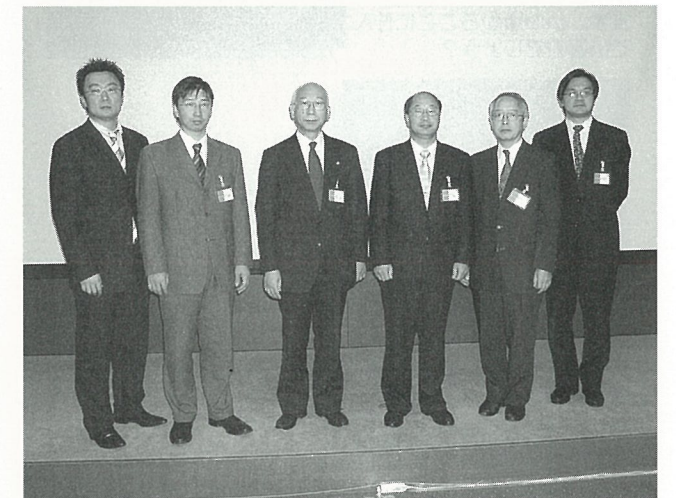
午後のKeynote Lectureでは千葉大学大学院の丹沢秀樹教授による「口腔癌の分子生物学的解析と臨床応用」に関して最新の知見を元にした臨床にも直結する内容の講演があり多くの関心を集めていました。

午後2時からはインプラントシンポジウム「インプラントの臨床的疑問と最近の知見」が催されました。このシンポジウムは学会理事で本シンポジウム企画委員の宮地建夫先生がまとめ役を務められ、臨床家の先生方の間で最も興味深いテーマのひとつであるインプラント治療をとりあげ、臨床と基礎の橋渡しをすることを目的に企画されたものです。まず、臨床的疑問から問題提起が

なされ、それに対して基礎的な根拠をもとにした回答を得るという形式で進められたこのシンポジウムは、日頃からインプラント臨床に携わっていらっしゃる臨床家から基礎研究に携わる先生まで、東京歯科大学内外の幅広い顔ぶれがかわるがわる発言をするユニークな形式のものでした。インプラント治療関連の商社展示ブースの設置にも後押しされ約250名の方々のご参加で血脇記念ホールは満杯となり、質疑応答では臨床家の先生からきわめてリアルな内容の発言をいただいてより一層の盛り上がりとなりました。

このシンポジウムは三回企画の第一弾という位置づけとなっており、すでに来年のシンポジウムに向けての取り組みが進められているとのことです。われわれ水道橋病院のスタッフもシンポジストとしてまた係員として大いに盛り上げて行きたいと考えております。次回以降も奮ってご参加いただければ幸いです。

また学会に合わせて来日された延世大学の12名の各分野の先生はシンポジウム後に水道橋校舎を見学され姉妹校としての交流を深めました。



座長の金子学長、朴教授とシンポジストの先生方



共同シンポジウムにおける質疑応答

水道橋界隈スケッチ

古参，新参……その2



◀ 研数学館

色々変わりゆく中で，健在なり研数学館。似たような正面玄関，どこか懐かしく見覚えがあるような…。



三崎町教会▶

十字架のイメージでしょうが，どこか人のようにも見えます。いつ頃からここに佇んでいるのでしょうか？



◀ 日大経済学部7号館

右手奥のグレーの建物がTDCビル。中央の白い建物が一番新しい日大。さて，その手前に建つ予定の或るものとは…。

(堀田宏巳 記)

水道橋病院症例報告会のご案内(予報)

例年，多くの先生のご参加をいただいております水道橋病院症例報告会を下記の通り行う予定です。今回も日々の臨床に役立つ内容となるよう準備を進めております。また報告会に引き続き懇親会を予定しておりますので皆様奮ってのご参加をお待ちしております。詳細は追ってご案内申し上げます。

平成18年4月13日(木)16時～ 血脇記念ホール

- 1) 口演，ポスター発表による症例報告
- 2) 特別講演 内容未定
- 3) 懇親会 (水道橋グリーンホテル)

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧
＜水道橋病院各科へは以下の番号にお問い合わせ下さい＞

保 存 科	
総 合 歯 科	03-5275-1721
ス ポ ー ツ 歯 科	
口腔インプラント科	03-5275-1760
補 綴 科	03-5275-1722
小 児 歯 科	03-5275-1723
矯 正 歯 科	03-5275-1724
口 腔 外 科	03-5275-1725
歯 科 麻 酔 科	03-5275-1851
眼 科	03-5275-1856
放 射 線 科	03-5275-1953
庶 務 課 FAX	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内

初 診 受 付	平日，土曜とも 午前9時から午前11時
診 療 時 間	平日 午前9時から午後4時30分 土曜 午前9時から午後12時
休 診 日	第2土曜，日曜，祝日， 本学創立記念日(2月12日)，年末年始

年末年始の診療について

年末は12月28日(水)まで平常に診療いたします。年始は1月5日(木)より診療開始です。なお休診中は，本院へ通院中の患者さまに対してのみの緊急オンコール態勢となりますので，皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

編 集 後 記

本号がお手元に届く頃は，年の瀬も押し迫り慌ただしくお過ごしのことと存じます。水道橋畔発を発刊してはや1年が経ち第3号となりましたが，臨床の場で活躍されている先生がたとの連携，交流に向けた，水道橋畔からの風を少しでも感じていただければ幸いです。最近になって病診の役割分担の推進に向けたさまざまな動きが活発ですが，お互いの顔の見える密接な連携協力関係がなによりも患者さまの利益につながって行くものと思います。

今後は治療上のヒントや新しい治療法への考え方など日々の臨床に役立つ記事なども掲載して参りたいと思っておりますので，ご意見ご要望などがございましたら編集部までお寄せ下さい。

なお勝手ながら本号に代えまして，病院からの年頭のごあいさつは失礼させていただきます。皆様にはお健やかによいお年をお迎えください。(高野 記)

水道橋畔発編集委員

編 集 委 員 長	柿澤 卓
編 集 副 委 員 長	堀田 宏巳，高野 正行
編 集 委 員	大多和由美，関根 秀志，福田 謙一 宮崎 晴代，森山 貴史，